

令和2年度 第1回 東京都教員育成協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和2年7月14日(火) 午後3時から午後5時まで
- 2 会 場 都庁都議会議事堂1階 都民ホール
- 3 出席者 宇田委員(会長)、増田委員(副会長)、佐々木委員、卜部委員、吉川委員、後藤委員、加藤委員、野村友彦委員、並木委員、野村公郎委員、安部委員、浅野委員、石田委員

4 議事内容

(1) 東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標について

- ・ 養護教諭に求められる役割は大きく、保健室経営に加え、アレルギー、熱中症、感染症などの対応も求められている。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策においても、養護教諭は中心的な役割を果たしている。
- ・ 主任教諭には若手教諭の育成が求められているが、主任養護教諭については、保健管理などの職の専門性から、教職員全体に対する指導も求められている。
- ・ 栄養教諭、主任栄養教諭、主幹教諭(栄養)は、学習指導要領の趣旨を理解した上で指導を行うことが必要である。各教科等と関連して取り組めると望ましい。
- ・ 栄養教諭の食に関する指導については、家庭との連携が重要である。関係機関との調整も必要であり、外部折衝力についても力を付けていただきたい。
- ・ 将来的に管理職になることを想定すると、主任養護教諭及び主任栄養教諭に求められる力には、学校運営に関する知識や管理職を補佐する力が必要である。

(2) 教員の資質向上に関する取組について

- ・ 大学ではオンライン授業が行われているが、オンライン授業を体験できたことは、学生にとって、良い経験になったのではないだろうか。将来、教員になった時に、ICT機器の活用などに生かしていくことができると期待している。
- ・ 大学では、実技、実験、実習、演習を行うことができていないが、教員養成のためには、非常に重要な内容である。今後、対策をとった上で実施していきたい。
- ・ 教育委員会の中では、ICT機器の環境整備が整ってきたところであるが、有効に活用するために、教員を集めて研究をしているところである。得手不得手があるが、どの教員の資質も向上させるように、指導していかなければならない。
- ・ ICT機器を活用した授業においては、メディアの特性を踏まえて、指導計画を作成する必要がある。教員研修の役割は非常に大きくなっていると考えている。
- ・ 学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえて教育活動を行っているが、教育に対する熱意と使命感をもつ教員が多いことを改めて実感し、いい教員が育っていると感じている。
- ・ 学校では、特別活動を以前の形で実施するのは困難である。どのような形なら実施できるのか模索していく必要があるだろう。